



公益社団法人 新庄青年会議所

60年の歩み

1964～2024

公益社団法人新庄青年会議所 創立60周年記念誌

目次

理事長挨拶	公益社団法人新庄青年会議所 第60代理事長 佐藤 元太 ……	3
実行委員長挨拶	公益社団法人新庄青年会議所 創立60周年実行委員長 長澤 大輔 ……	3
祝 辞	山形県知事 吉村美栄子 ……	4
	新庄市長 山科 朝則 ……	4
	最上地方町村会会長 鮭川村長 元木 洋介 ……	5
	金山町長 佐藤 英司 ……	5
	最上町長 高橋 重美 ……	6
	舟形町長 森 富広 ……	6
	真室川町長 新田 隆治 ……	7
	大蔵村長 加藤 正美 ……	7
	戸沢村長 加藤 文明 ……	8
	公益社団法人 日本青年会議所 第73代会頭 小西 毅 ……	8
公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会 2024年度会長 菅原 啓太 ……	9	
公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会 2024年度会長 佐藤 友介 ……	9	
公益社団法人 山形青年会議所 第69代理事長 高橋 慶多 ……	10	
新庄青年会議所 OB会 会長 高橋 智之 ……	10	
歴代理事長並びにスローガン紹介 ……	12	
活動紹介(2019年～2024年まで) ……	14	
中期ビジョン紹介 ……	20	
60周年記念事業紹介 ……	24	
現会員紹介 ……	26	
お礼の挨拶 ……	28	



公益社団法人新庄青年会議所 創立60周年記念式典

日時 10月25日(金) 午後4時30分
場所 東北農林専門職大学 大講堂

次第

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. J C ソング斉唱
4. J C I クリード唱和
5. J C I Mission並びにJ C I Vision唱和
6. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和
7. 東北J C 宣言唱和並びに
(公社)新庄青年会議所2024年度スローガンアファメーション
創立60周年スローガンアファメーション
8. 理事長挨拶
9. ご来賓紹介
10. 来訪J C 紹介
11. ご来賓祝辞
12. 祝電披露
13. 歴代理事長紹介
14. 新庄青年会議所OB会より贈呈
15. スポンサーJ C へ感謝状並びに記念品贈呈
16. (公社)新庄青年会議所「笑顔をつなぐ」行動指針
17. 記念事業紹介
18. 閉式の辞

JCI Creed

The Creed of Junior Chamber International

We Believe;
That faith in God gives meaning and purpose to humanlife;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men Through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;and
That service to humanity is the best work of life.

JCI 綱領

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な
経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities that empower young people to create positive change.

JCI のミッション (使命)

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders

JCI のビジョン

青年会議所が若きリーダーの
国際的ネットワークを先導する組織となる

J C 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を
描き社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱 領

われわれJayceelは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

東北 J C 宣言

われわれは
新たな価値を創造する旗手として
尊い「結」の精神を呼び覚まし
かつてない未来を切り拓くことを誓う

公益社団法人新庄青年会議所 2024年度スローガン

BRUSH UP
~仲間とともに笑顔が生まれる社会へ~

理事長挨拶



公益社団法人
新庄青年会議所
第60代理事長
佐藤元太

公益社団法人新庄青年会議所は、1964年に有数の経済都市に発展すべく、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、公益社団法人山形青年会議所様より指導を賜り、全国で299番目の青年会議所が誕生し、本年で60年の節目を迎えることができました。これも偏に、地域行政、関係諸団体、地域住民の皆様、そして新庄青年会議所の想いをつないでくださった先輩諸氏の皆様の多大なるご支援ご協力のおかげだと深く感謝申し上げます。

本年、新庄青年会議所が創立60周年を迎えるにあたり、「BRUSH UP」とスローガンを掲げ、郷土の豊かな自然と文化、歴史を大切に、誰も取り残されない持続可能な多様性のあるまちづくりを実現するため運動を展開してきました。

そして、これまで先輩諸氏の皆様が、ひとのため、まちのため、青少年のため運動を興し、時代に合った事業や組織運営を行ってきたことで、地域にたくさんの笑顔を届け、今私たちへつながっていると考え、創立60周年スローガン「つながる笑顔」といたしました。

また、創立60周年記念事業では、皆様へ感謝の気持ち、そしてたくさんの笑顔を届ける想いで、世代を超えて愛されるデジタルコンテンツを活用した「君こそスターだ！eスポーツフェスティバル！～MOGAMIのヒーロー誕生へ～」を開催させていただきました。オリンピック種目候補になったことがあるeスポーツは、老若男女、子供からお年寄りまで参加していただき、持続可能な未来を皆様へ体感する機会とさせていただきます。

結びに、私たち青年は、これまでも失敗を恐れず地域の課題に向き合い、未来を考え行動し、皆様が笑顔で暮らせる新庄もがみ地域を実現することを熱い気持ちをもち挑戦し続けることをお誓い申し上げ、記念誌発行の挨拶とさせていただきます。これまでも、より一層のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

実行委員長挨拶



公益社団法人
新庄青年会議所
創立60周年実行委員長
長澤大輔

本年度、記念すべき新庄青年会議所創立60周年を多くの皆様のご理解とご協力のもと迎えることができたこと、心より感謝を申し上げます。また、本記念誌の発刊にあたり、各自治体の首長様、関係諸団体の皆様、OB諸氏の多大なるご協力を賜ったことを重ねて感謝申し上げます。

この度、実行委員長という担いを頂戴して周年事業の構築に向き合うにあたり、多くの学びと発見がございました。それは、先輩諸氏が地域と住まう人々の可能性を信じ60年間もの永きに亘り新庄もがみ地域と向き合い続けてこられたということです。歴史の中では、野球大会や雪まつり、山形新幹線の新庄延伸に関わる事業や市町村合併に関する運動など、現在でも継続しているものもございましたが結果なくなったものもございました。しかしながら、地域が大きく変わろうとする時、社会に大きな影が差した時、そこに正面から向き合う青年の姿が在ったことを周年事業の構築を通して実感させていただきました。

私たちの創立60周年のスローガンは「つながる笑顔」です。先輩諸氏が関係諸団体との連携の中で確かに残されたもの、そのシンボルが「笑顔」であると考えています。先輩諸氏が紡いで頂いた笑顔、地域の未来の笑顔につなげる起点となる一年となることをお約束させていただきます。

結びとなりますが、日頃よりご理解とご協力を賜っている各自治体、関係諸団体、多くの皆様のおかげで今の私たちがございます。私たちだけでは出来ないことも、多くの力を重ねることで地域を変革できると信じています。皆様におかれましては引き続きのご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



山形県知事
吉村 美栄子

公益社団法人新庄青年会議所が、このたび創立60周年の節目を迎えられますことを心からお喜び申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、1964年の発足以来、新庄もがみ地域における「明るい豊かな社会」の実現に向けて、地域の特性を活かしたまちづくりや、青少年育成、災害ボランティアなど、地域や企業の皆様とともに様々な活動を積極的に展開されてこられました。

時代の変遷とともに社会情勢や課題が変化する中、60年の長きにわたり、地域社会の発展のために、多大なる御尽力をいただいていたことに対し、心から感謝申し上げます。

ここ新庄もがみ地域は、秀麗な山々に囲まれ、「母なる川」最上川が流れる、四季の変化に富む美しい自然に恵まれた地域です。また、令和7年には新庄藩が開府400年を迎えることとなりますが、この長い歴史の中には、ユネスコ無形文化遺産である「新庄まつり」の起源があります。まつりは時代とともにその形を変えながらも、この地に住む人々の変わらぬ「情熱」は脈々と受け継がれてきました。

貴青年会議所では、この夏のまつりのように、地域の子どもたちに夢と希望を与えるという理念のもと、「新庄雪まつり」を立ち上げ、今年で53回目を迎えられています。いまや「新庄雪まつり」が、冬の風物詩として地域の方々に親しまれておりますのは、一つひとつ歴史を積み重ねてこられた、貴青年会議所の皆様の弛まぬ御努力の賜物であると、深く敬意を表する次第です。

貴青年会議所が、次なる10年、さらにその先の未来へと進む中では、社会情勢の変化とともに様々な壁に当たるものと思います。こうした中であっても、これから本県を支えていく次世代のリーダーである皆様には、先人から受け継がれてきた「情熱」をもって、新庄もがみ地域はもとより県全体の発展に向けて、なお一層御活躍いただくことを心から期待しております。

結びに、公益社団法人新庄青年会議所の今後ますますの御発展と、会員の皆様のご健勝と御多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



新庄市長
山科 朝則

新庄青年会議所の創立60周年を記念してお祝いを申し上げます。また、この度60年の輝かしい軌跡を綴る記念誌が発行されますこと、心からお慶び申し上げます。

青年会議所の皆様におかれましては、60年の永きにわたり、明るい豊かな社会づくりを志し、新庄最上地域の発展のために多大なるご貢献をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

貴所が昭和47年から長年にわたり実施している雪まつりは53回を迎え、雪深い新庄の特色を活かし、地域内外に雪国の魅力を発信し、子どもたちが大いに楽しめる地域の祭りとして定着しています。近年は、新型コロナウイルスの流行や少雪など、開催にあたり大変な困難があったと推察いたしますが、その中で創意工夫を凝らし、成功裏に収められました。日々の仕事と両立しながら地域社会への様々な貢献活動に取り組む姿勢と、これまでの貴所の多大な功績に深く感謝申し上げます。

新庄市は令和7年に、新庄開府400年を迎えます。1625年(寛永2年)常陸国松岡から新庄へ来た初代藩主の戸沢政盛公が新庄城を築城し、開府したことから本市のまちづくりははじまりました。本市では、これまでの「まち」の成り立ちや歴史を再認識し、郷土への愛着と誇りをもって次の100年への新たなまちづくりにつなげてまいりますので、今後とも本市行政に対する、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴所がこの60周年を一つの節目として更なる発展を遂げられますこと、並びに会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



最上地方町村会会長
鮭川村長
元木 洋介

公益社団法人新庄青年会議所が創立60周年の節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

新庄青年会議所におかれましては、昭和39年の設立以来、長きにわたり地域経済の若いけん引役として地域の商工業の振興にご尽力いただくとともに、地域づくりの担い手として新庄・最上地域の活性化に取り組んでこられました。

今、世界では、人口の指数関数的な増加や地球温暖化による急激な自然環境の変化など制約条件が一層複雑化する中、加えて世界各地で勃発する紛争など世界情勢は政治的にも社会的にも混迷の度合いを深めております。

またその一方では、産業活動や人々の生活の中にロボティクスや人工知能といった画期的な技術革新が実装されつつあり、人間社会の在りようが大きく変わろうとしています。

このような激動する時代の変革期にあつて、会員の皆さんの若い柔軟な発想とチャレンジ精神により、よりよい未来を切り拓く先導者となられることを切に期待いたしております。

皆様がスローガンに掲げておられる「つながる笑顔」、「仲間とともにより笑顔が生まれる社会」の実現に向けて、地域の活性化と地域産業の振興の担い手として、市町村行政との更なる協働をお願いいたします。

結びに、この記念すべき60周年の節目を、次の時代に向けた更なる発展への出発点として、新庄青年会議所の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



金山町長
佐藤 英司

このたび、公益社団法人新庄青年会議所が設立から60周年を迎えますこと、心からお祝いを申し上げます。

昭和39年の設立以来、青年会議所の不変テーマである「明るい豊かな社会の実現」を目指し、「修練」「奉仕」「友情」を三信条として掲げて、「新庄雪まつり」をはじめとする地域に根ざした様々なイベントや、青少年の人材育成に向けた取り組み、あるいは災害ボランティアや政治への参画意識を向上させる活動などを熱心に展開してこられました。

特に昨年は、東北地区山形ブロック協議会第56回山形ブロック大会新庄大会を主管され、新庄最上8市町村はもとより、山形県内のすべての仲間と共に持続可能な地域創造の新たな契機ともなる大会として成功裡に務めあげました。こうした皆様の活動にあらためて感謝と敬意を表するものでございます。

さて、大正14年1月1日に町制を施行した金山町も、今年度100周年を迎えようとしております。人口5000人弱の小さな町ですが、その山里には樹齢300年を超える杉の美林や、雑割石で組まれた水路に泳ぐ鯉、白壁と杉板張りの落ち着いた家並みがたたずんでおります。

こうした町づくりにご尽力いただいたすべての皆様へ感謝の気持ちを持ちつつ、町民の皆さんとともに新たな一歩を力強く踏み出す所存でありますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

60年という節目の年を迎え、「もがみは一つ」の掛け声のもと、郷土の豊かな自然と文化を守り、誰も取り残されない持続可能な多様性のある町づくりを力強く牽引されますことを心からご期待申し上げております。

結びに、新庄青年会議所の益々のご発展と関係各位のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。お祝いのメッセージとさせていただきます。



最上町長
高橋重美

公益社団法人新庄青年会議所が長い歴史を携え、創立60周年を迎えられますことに對し、心よりお祝い申し上げます。

日本青年会議所が戦後すぐの1949年、「明るく豊かな社会」の実現を目指し、責任感と情熱を持った青年有志による東京青年商工会議所設立を皮切りに、青年会議所(JC)運動となって日本中に広がりを見せたことは世に周知のところであります。

貴新庄青年会議所が、創立60周年を迎えますことは、日本青年会議所の歴史に匹敵する活動の積み重ねを物語っております。改めて貴新庄青年会議所が、社会貢献を目指す若々しい力と情熱を、弛まず育み続けて来たことを示すものとして、深く敬意を表するものであります。

隣り合う当町から、貴新庄青年会議所の活動を拝見いたしますと、地域経済活動への働きかけはもとより、新庄・最上地域の青少年の育成や特色を活かしたまちづくり、災害ボランティア、地元の冬を彩る新庄雪まつりなどのイベントを通じて地元の魅力を子どもたちに伝える活動など、若々しいエネルギーを糧として広がりを見せてゆく活動が数多く見受けられます。

それは、我がまち最上町が目指す、笑顔が輝き住み続けたいなるまちづくりの良き手本であり、この最上の地から、日本全国に対し、輝き溢れるふる里の魅力を発信する活動そのものと言っても過言ではありません。

日本は今後益々、人口減少の局面に立たされ、少子高齢化に対する施策の構築が急務であります。日本青年会議所が掲げる「明るい豊かな社会の実現」は不変の精神であり、まさしく今の日本に求められているものです。

貴新庄青年会議所が、激動の社会の中において、益々リーダーシップを発揮され、実り豊かな社会の構築を実現するため、若き情熱を結集されることをご期待すると共に、貴新庄青年会議所の更なるご発展をご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



真室川町長
新田隆治

公益社団法人新庄青年会議所の創立60周年という輝かしい節目を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。

創立以来、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、会員相互の親睦と研鑽を図りながら、長年にわたり地域社会の発展と繁栄に貢献してこられた皆様のご尽力に深く敬意を表します。

さて、これまでの青年会議所の活動の歴史を振り返ると、志の高い歴代の諸先輩方は常に地域貢献を念頭に最上地域の未来を見据え、若い力を結集し地域の諸課題に対し果敢に挑戦されてきました。課題解決や目標達成のための行動力や創造力は、地域の希望の光として、さらには地域のリーダーとしての責任感や誇りを感じさせてくれるものでした。こうした先輩方の活動を目の当たりにしてこられた皆様は、この多様で変化の激しい現代社会においても、柔軟な思考と確固たる信念を持ち、最上地域の若者たちの模範となるような活動を継承されることと思えます。そして、その情熱を多方面に発信しながら、次世代を担うリーダーとして、地域の絆をより一層強固なものにし、さらなる飛躍を遂げるものとご期待しております。

真室川町といたしましても、これまでの活動に対し敬意を表するとともに、今後とも最上8市町村をはじめとする関係団体と連携、協力しながら、官民一体となって最上地域の発展のために取り組んで参りたいと思えます。

結びに、これまでの60年間の歩みを振り返り、その成果や誇りを胸に、佐藤理事長の掲げる旗印のもと、貴所の活動が地域の繁栄と幸福に寄与し続けること願うとともに、会員皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



舟形町長
森富広

公益社団法人新庄青年会議所が創立60周年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、昭和39年7月に県内で3番目の青年会議所として発足されて以来、明るい豊かな社会の実現という理想と、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、地域づくりやまちづくりに参画し、地域課題の解決を目指してこられたその取組みは、地域社会の活性化・発展に大きく貢献されてきました。今後も、青年らしい発想や行動力で、地域社会の発展に貢献されますようご期待申し上げます。

そしてこのたび、創立60周年という記念すべき節目を迎えられましたことは、誠にご同慶の至りであり、歴代理事長をはじめ、会員の皆様方の熱意とたゆまぬご努力に対し、深く感謝と敬意を表します。

さて、人口減少や少子高齢化が進展する現在、魅力的で持続可能な「地域づくり」と、それを担う「人づくり」が、より一層重要となっております。

舟形町では、今年度、町の目指す姿を描く第7次舟形町総合発展計画の後期短期アクションプランを策定し、『住んでいる人が誇れるまちづくり「わくわく未来ふながた」』の実現に向けさらなる取組みを推進していくこととしています。

その推進に当たっては、地域で活躍する皆様と連携することが不可欠だと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人新庄青年会議所の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



大蔵村長
加藤正美

公益社団法人新庄青年会議所創立60周年を迎えられましたことを衷心よりお慶び申し上げます。

新庄青年会議所は、設立以来60年の永きにわたり「修練」「奉仕」「友情」を三信条とし、新庄最上地域の「明るい豊かな社会」の実現を目指し、新庄雪まつりの企画運営や地域の抱える時々の課題に対応した活動、近年の大規模災害における災害ボランティア等様々な活動を展開され、地域の発展に大きな役割を果たしてこられました。これも偏に歴代の理事長をはじめ、会員の皆様の日頃のご尽力の賜物であり、深く敬意と感謝を申し上げます。

今、日本は、東京一極集中と地方の人口減少とともに少子高齢化が急速に進んでおります。さらに、新型コロナに翻弄され続けたこの4年間や急激な円安や国際情勢の不安定から生産資材の高騰や生活関連物資の値上げなど住民生活や地域経済への影響が大きくなっております。しかしながら、一方では、東北中央自動車道が最上地域まで開通し、首都圏と直接結ばれたことにより、人の交流や物流が活発化して明るい兆しが見えて参りました。こうした中で、青年会議所の活動における青少年育成や地域の特性を活かしたまちづくり等、未来に向けた活動は、ここで暮らす住民一人一人が積極的に地域づくりに関わる基盤づくりであり、地域から大きく認められる取り組みであります。また、各市町村との災害ボランティアセンターの運営協定の締結など地域を支える活動には大きな期待をしております。

青年会議所の皆様方には60年間積み重ねた伝統と地域愛を持ち、若さ溢れる行動力で新庄最上地域の活性化にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新庄青年会議所の益々のご発展と会員皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



戸沢村長
加藤 文明

公益社団法人新庄青年会議所が創立60周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。ここに60年の歩みを振り返り、新しい時代へのさらなる発展と飛躍を目指し記念誌を発刊されますことは、誠に意義深いことと存じます。

昭和39年の創立以来、明るい豊かな社会づくりを目指し、その情熱を次世代へ継承すべく使命を持って活動し続けられ、新庄雪まつりをはじめとする様々なイベントや青少年の人材育成に向けた取り組み、災害ボランティアなどへの参画意識を向上させる活動など、地域に根ざし熱心に地域の発展に大きな貢献をされてこられた事に敬意を表するところであります。

本年7月25日から26日未明に大規模な洪水、がけ崩れが発生し、新庄・最上地域に甚大な被害が発生しました。戸沢村においても260棟にも及ぶ家屋の浸水被害が発生しました。その際には貴青年会議所をはじめ会員各位より物心両面にわたり、ご支援ご協力賜り厚くお礼申し上げます。発災から2ヶ月余りになりますがこの間、仮設住宅の建設、自宅修繕、みなし住宅入居の手続き等、村として取り組んでいますが、爪痕は深く完全復興までは時間を要する状況下にあります。国・県の力を借り、村そして地域住民が一丸となり復興に努め、より安全・安心な村づくりに取り組んでまいります。

このような状況下ですが、高規格道路「新庄古口道路」の令和6年度内の開通が予定されています。この開通により最上・庄内地域の物流増加や観光人口増加への期待、人的交流、救急医療の充実などがはかられ、地域住民の活性化に大きく寄与することと確信しているところです。

結びに新庄青年会議所のますますのご発展と皆様のご健勝ご活躍を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



公益社団法人
日本青年会議所
第73代会頭
小西 毅

公益社団法人新庄青年会議所の皆様、創立60周年、誠にありがとうございます。60年という長きにわたり、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対して、心より敬意を表します。また日頃より公益社団法人日本青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

創立より先輩諸氏の熱き想いを継承し、60周年の記念すべき年に、佐藤元太理事長のもと、スローガンに「BRUSH UP ～仲間とともにより笑顔が生まれる社会へ～」を掲げ、明るい豊かな社会を実現するため、地域に影響を与える運動を推進されていることと存じます。貴青年会議所のメンバーが、失敗を恐れず地域の課題に向き合い、仲間とともにより笑顔が生まれる社会の実現に向けて邁進することで、組織と文化を次代へ継承するための節目の年となるよう願ってやみません。佐藤元太理事長の掲げる運動が地域の発展に寄与され、誰一人取り残さない、誰もが活躍できる組織として、貴青年会議所のメンバーの成長へと繋がりますことをお祈り申し上げます。

日本青年会議所では、「親切心が織りなす豊かさと笑顔あふれる未来へ」を基本理念に掲げ、一人ひとりの会員の優れたリーダーシップを開発することを目的とし、素朴で純粋な親切心をもって、各地の皆様と手を取り合い、明るく豊かな社会を実現させるために様々な運動を展開しております。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、日本青年会議所を大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、現役会員、先輩諸氏の皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

Be the Leader 未来の笑顔のために



公益社団法人
日本青年会議所
東北地区協議会
2024年度会長
菅原 啓太

この度、公益社団法人新庄青年会議所が創立60周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。これまでの歴史のなかで、地域の発展にご尽力されてきた先輩諸氏の高い志を受け継ぎ、今なお力強く運動を展開されている現役会員の皆様に敬意を表します。

また、平素より公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会の運動に、多大なるご理解ご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

貴青年会議所現役会員の皆様をはじめ、東北地区内会員の皆様と交流する中、改めて気づいたことがあります。それは、「JCは、まだまだこれからだ」ということです。近年様々な課題に直面しながらも、先輩諸氏そして現役会員とこの課題に向き合ってきたからこそ、今私たちは「まちを、もっとより良くしよう」「自らが、もっとより良くなるよう」という機運が高まっているように感じます。今こそ、佐藤理事長が掲げられるスローガン「BRUSH UP ～仲間とともにより笑顔が生まれる社会へ～」のもと、目の前の活動に全力で取り組む時です。スローガンに込められた、様々な困難に直面しながらも、大切な仲間と失敗を恐れずひたむきに笑顔が生まれる社会の実現に向けて邁進していこうという想いと、本年度東北地区協議会で掲げるスローガン、「ATM ～明るく、楽しく、前向きに～」に込めた、何よりもまず明るく、楽しく、前向きに、メンバー一人ひとりが責任を持ち、できる、できない、を考えて行動するのではなく、挑戦し続けるからこそ、東北に新たな価値を創造することができるという想いが結び合い、笑顔溢れ、人と人がつながった活気ある新庄もがみの創造が実現されることを心よりお祈り申し上げます。

結びに、貴青年会議所のますますのご発展と先輩諸氏並びに現役会員の皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人
日本青年会議所
東北地区山形ブロック協議会
2024年度会長
佐藤 友介

公益社団法人新庄青年会議所が創立60周年を迎えるにあたり、山形ブロック内の会員会議所会員を代表して心よりお慶び申し上げます。

創立から60年間という永きに亘り、地域発展のために尽力された先輩諸兄姉並びに現役会員の皆様に対し深く敬意を表します。

山形ブロック協議会では本年度、【BE FIRST ～親切心が導く 夢と希望溢れる「やまがた」の実現に向けて～】のスローガンのもと、誰かのために、地域のために率先して行動する「利他のこころ」に着目した事業や運動を展開しております。貴青年会議所におかれましては、山形ブロック協議会に対する多大なご理解とご協力に深く感謝申し上げますとともに、互いに当事者意識をもち各種事業に取り組んでいることに、有り難いご縁を感じております。また、本年7月に発災した山形県集中豪雨では県内各地域が混乱し、貴青年会議所の活動範囲内でも甚大な被害が生じました。誰もが伏し目がちとなる中、佐藤理事長が強いリーダーシップを発揮し、本会、東北地区協議会、そして山形ブロック協議会に向け、被害状況と支援依頼を発信していただきました。直ちに全国のJCメンバーが災害ボランティア活動に参画し、青年会議所は親切心溢れ勇気ある行動ができる団体、より地域に求められる団体として大きな飛躍へとつながりました。

これこそ、佐藤理事長の「BRUSH UP～仲間とともにより笑顔が生まれる社会へ～」というスローガンのもと、失敗を恐れずに地域の課題に向き合い、学びを経験することで勇壮なJAYCEEを生み出し、笑顔を創出することの重要性を仲間と共有できたからです。更なる「BRUSH UP」のため、引き続き山形ブロック協議会の事業や運動にご参画とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立60周年を迎えられた公益社団法人新庄青年会議所の皆様が、佐藤理事長のリーダーシップのもと、今後益々の飛躍と御活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人
山形青年会議所
第69代理事長
高橋 慶 多

この度は、公益社団法人新庄青年会議所創立60周年記念式典並びに祝賀会の開催誠におめでとうございます。また、平素より私ども公益社団法人山形青年会議所の運動に対しても絶大なるご支援とご協力賜っておりますこと、心より感謝御礼申し上げます。

新庄青年会議所は、1964年、私ども山形青年会議所がスポンサーJCIという形で全国299番目、県内では3番目のLOMとして認証されました。それ以来「新庄もがみ」の広い範囲を活動エリアとし本年で53回を数える「新庄雪まつり」の企画・開催や地域に根ざしたまちづくり、人づくり運動の実践と、間違いなく地域になくはない存在であります。そして、創立60周年記念事業としまして今年6月には「君こそスターだ！eスポーツフェスティバル！～MOGAMIのヒーロー誕生へ～」と題し、世代を超えて愛されるデジタルコンテンツを活用することで、未来の笑顔の創出から地域の未来へつなげる事業を開催され、新庄もがみのまちをしっかりと牽引し、地域発展の先頭を担われておりますことに心から敬意を表す次第であります。

「BRUSH UP ～仲間とともにより笑顔が生まれる社会へ～」を本年のスローガンに掲げ、年々脈々と先輩諸兄より受け継がれた創始の思いと時代の変化によってもたらされた新しい風の融合で、この創立60周年を大きな節目に、仲間とともに笑顔が生まれる地域社会に向け新庄青年会議所の運動が益々展開されますことを心よりご祈念申し上げます。スポンサーJCIとしての祝辞とさせていただきます。

創立60周年誠におめでとうございます。



公益社団法人 新庄青年会議所

60年の歩み

1964～2024



新庄青年会議所
OB会 会長
高橋 智 之

「新庄青年会議所」が本年、創立より60周年を迎えることが出来ましたこと、誠に喜ばしく、新庄青年会議所OB会を代表し衷心よりお祝いを申し上げます。また敬愛して止まない多くの先輩方、仲間たち、そして折に触れ暖かく支えて下さいます地域の皆様があればこそと、皆様方に対し厚くお礼申し上げます。

先賢諸氏が地域を想い、志を同じくし準備をされ、新庄青年会議所が晴れて認証を頂き活動を開始した1965年、私はこの世に生を受けました。1992年の入会以来、青年会議所活動の精神に沿い、またご縁を頂戴した多くの方々からの多様な影響の基に本日まで過ごして参りました。私の胸に深く刻み込まれた一文があります。「変革の能動者たらんとする青年として」これに続くJCI宣言文（1988年より第2期の宣言文）は、多くのOB諸兄姉がそうであるように卒業を経てもなお、心の拠り所となっていることに驚かされます。時代に即して変遷を重ね、現在はまた次代を先取りし、時に会員を鼓舞し、また病める時は心温かく立ち還らせてくれる宣言文となっているはずで。

何が正しいのか？正解のない時代。「変化はコントロールできない。できるのは変化の先頭に立つこと事だけである」（ドラッカー）。変化の時代を乗り越える唯一の手段は、あえて変化の先頭に立ち、変化の生み手となること。是非ともその若い力を以てして、地域に変化を、と願って止みません。そしてまたOB会は、その活動に加勢する無二の応援団でなければならず、更には我々にあっても進化をと考えます。

最後になりますが、地域の模範、そして続く青少年にあつては憧れの的。進化し続ける現役の皆様立ち居振る舞いに感動し、無意識に襟を正し自らを律する自分に気づき、改めまして敬意を表します。公益社団法人新庄青年会議所の、益々のご発展と、会員の皆様の更なるご活躍を心からお祈りし創立60周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

歴代理事長並びにスローガン紹介

年	理事長名	スローガン
1965年	初代 加藤 国一	(日本JCスローガン) 福祉国家創るさきがけ果たせJC
1966年	2代 加藤 国一	(日本JCスローガン) JAYCEEの若さで創ろう 明るい未来
1967年	3代 片岡 富太	(日本JCスローガン) JAYCEEの勇気で築こう 正しい社会
1968年	4代 大石準一郎	(日本JCスローガン) 日本の正しい行く手 示せJAYCEE
1969年	5代 佐藤 肇	(日本JCスローガン) JAYCEEの総意でしめせ、日本の姿勢
1970年	6代 高橋友三郎	(日本JCスローガン) 豊かな心、厳しい自覚、貫け社会の正義
1971年	7代 今野 博	(日本JCスローガン) 豊かな心、厳しい自覚、築こうアジアの連帯感
1972年	8代 矢口喜一郎	(日本JCスローガン) 考える 行動する 若い力が未来をひらく
1973年	9代 近岡 春男	(日本JCスローガン) 若人と 創ろう 築こう 豊かな社会
1974年	10代 加藤 光世	(新庄JC10周年スローガン) 豊かな心 若さで築こう未来の新庄
1975年	11代 稲川 進	(日本JCスローガン) 人間への期待 創ろう正しい 日本の力
1976年	12代 森 春仁	今ここで考え、そして行動を起こそう 我ら連帯の下に
1977年	13代 佐藤 菊夫	自分をみつめ 郷土を見直し 明日を創ろう
1978年	14代 松澤 洋一	進もうJC 郷土のために 自己の向上はかりつつ
1979年	15代 田中 幸一	若く、厳しく、新しく コミュニティの力になろう
1980年	16代 江口 好彦	自己への挑戦、責任ある行動 みんなで築こう明るい社会
1981年	17代 涌井 次一	はぐくもう豊かな精神 深めよう地域の絆 まわそう歯車 JAYCEEの力
1982年	18代 佐藤 隆	出会い ときめき・共感・まちづくり
1983年	19代 奥山 高基	求めよう自己の確立 みつめよう地域社会 英知で創ろう 明日へのかけ橋
1984年	20代 甲州 則雄	さあ出発 未来に向けて 虹をかけよう 愛する地域へ
1985年	21代 川崎 俊一	「最上はひとつ」 我らの英知で 築こう未来
1986年	22代 菅江 憲一	いま聞こう 地域の声 膨らまそう我らの夢 愛する最上に確かな軌跡を
1987年	23代 石川 泰助	見わたそう最上の地、創り出せ誇れる郷土
1988年	24代 近岡 晃一	大胆な発想 変革への勇気ある挑戦
1989年	25代 白崎準四郎	新たな旅立ち 夢あるまちづくり ひとづくり
1990年	26代 山科 久治	創ろう21世紀の我が郷土 しめせ青年の団結
1991年	27代 阿部 彰	めざせ個確立!! 地域の自立 我らが創る 最上新時代

年	理事長名	スローガン
1992年	28代 茅野 博	議論を重ね 汗をかき 見つけよう 夢ある最上のまちづくり
1993年	29代 阿部 和弘	いいさげ まず、やってみっぺ
1994年	30代 深田 裕一	人を知り、夢をもち 思いを込めよ 我がまちに
1995年	31代 金沢 友治	創ろう 新たな力で 我らの地域を
1996年	32代 郷野目一彦	燃えろリーダー!! 無からの創造 点から線へ線から面へ
1997年	33代 近藤 新一	伸びる「つばさ」で翔くもがみ
1998年	34代 菅 信也	叫ぼう もがみルネッサンス!! 勇気と情熱こそが議論をよぶ
1999年	35代 高橋 欣也	『変革と自覚!』
2000年	36代 小松 伸也	自分を信じ 地域を信じ 創る最上の新千年紀
2001年	37代 戸田 伸也	21世紀のキャンパスに 描こう 我らの自画像を!
2002年	38代 高橋 隆一	知力・活力・実践力 変革の心をもって 豊饒人へ
2003年	39代 近岡慶一郎	「現在なすべきこと」を心の基準に
2004年	40代 渡邊 修一	最上の都 アルカディア 情熱こそが最上を動かす
2005年	41代 高橋 智之	確かな自信を携えてどこへでも踏み出そう そして誇りをもって伝えよう新庄最上が真の日本であることを
2006年	42代 海藤 剛	[明るい豊かな社会]に向け PIONEERとなり駆け抜けよう!
2007年	43代 田澤 雅宏	我々の熱き思いを今こそかたちに受け継がれた情熱こそが最上を動かす
2008年	44代 長沼 建	志あれば道は開ける! そして強い志こそが事を拓く!
2009年	45代 佐藤 文一	一心 ~今、心を一つに、新たな一歩がもがみの一歩~
2010年	46代 佐藤 孔一	己を律し、礼を履み行動しよう! ~「笑顔」と「感謝」あふれるもがみのために~
2011年	47代 涌井 洋一	青く果敢に挑もう わくわくするもがみを目指して
2012年	48代 日下 修一	未来に向けて一歩を踏みだし 共に歩み共に行動しよう!! 誇りあるまちの創造に向けて
2013年	49代 田中 雅樹	感謝しよう! 恵みに、仲間に、このまちに!! ~我々のところが美しいもがみを創り出す~
2014年	50代 高橋 学 沼澤 光洋	無の中から無限ある手法で持ち未来を開拓せよ そして地域の先駆けとなり行動を興せ
2015年	51代 山科 慎治	進一層 描こう未来 進もう前へ
2016年	52代 富樫 宏一	共に自己を磨き郷土への想いを深めよう 次世代につながる新庄もがみの創造へ向けて
2017年	53代 大竹 伸明	一心一意 誇らしき故郷の創造
2018年	54代 指村 隼人	共創 ~新たな未来を切り開くために今「挑戦」と「変革」のとき~

2019

第55代理事長

小野 善弘



「創立60周年に寄せて」

公益社団法人新庄青年会議所が創立60周年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。
半世紀以上もの永きにわたり伝統と信頼を築き上げてこられました先輩諸兄をはじめ、行政、学校関係者、各種関係団体、地域の皆様のご理解と温かいご支援の賜物であります。心より感謝申し上げますと共に敬意を表します。また、創立55周年の折には様々なご支援ご協力を賜りましたこと重ねて厚く御礼申し上げます。

2019年度の新庄青年会議所は「インサイドアウト～自分が変われば世界が変わる～」のスローガンのもと多くの事業を展開して参りました。

新庄雪まつりをはじめとする公益事業のほかに、当時はまだ聞きなれない言葉であったSDGsについて学び広めていくことにも注力しました。

未来のあるべき姿を考え、そこから今すべきことを逆算して考える「バックキャスト思考」は「明るい豊かな社会の実現」を目指す私たちにとって大きな変革をもたらしてくれました。メンバー一人ひとりもつ可能性を明確なビジョンを掲げることで最大限に引き出すことができたのではないかと考えております。

青年会議所は単年度制ですが、会はもちろん地域やそこに住まう人はこれからも持続可能なものであり続けなければなりません。60周年という節目を迎えた新庄青年会議所がこれからも先陣を切って邁進して参られますことを心より期待しております。

結びに、新庄青年会議所の益々のご発展と佐藤元太理事長を始めとするメンバーの皆様のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの挨拶に代えさせていただきます。

創立60周年誠におめでとうございます。

スローガン

インサイドアウト

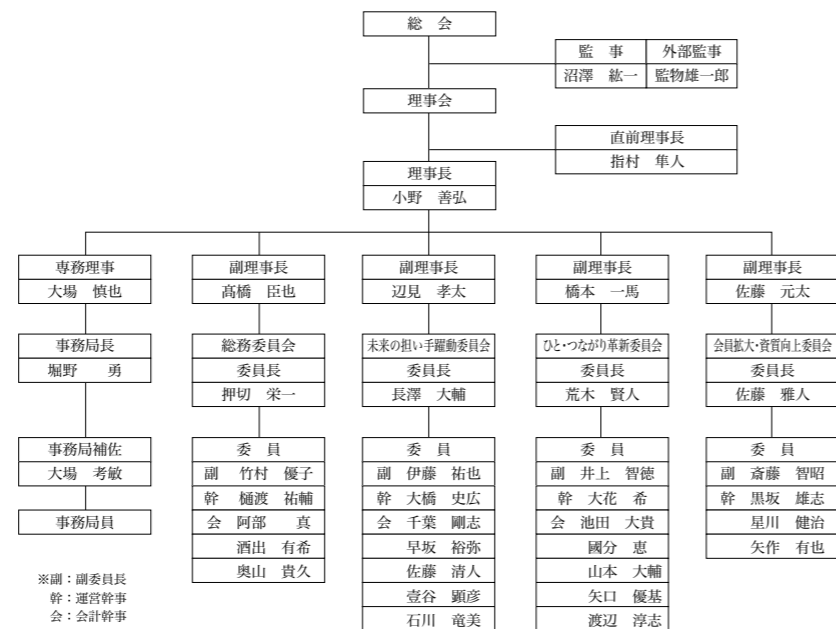
～自分が変われば世界が変わる～

主な事業

- 第48回新庄雪まつり
- 新庄雪まつりを振り返る会
- 新庄もがみ世代交流まつり
- 新庄もがみ未来博
東北地区協議会 輝く東北アワード最優秀 LOM 経済開発プログラム
山形ブロック 地域活性化部門優秀賞
ブロック会長特別賞
- 人材養成スキルアップセミナー
- しんじょう盆踊り大会2019
- SDGs×チイキの未来ワーク
- 山形ブロック協議会 アカデミー委員会最優秀賞
堀野勇君



2019年度 組織図



2020

第56代理事長

辺見 孝太



「創立60周年に寄せて」

公益社団法人新庄青年会議所が創立60周年の節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。
私が理事長を仰せつかった2020年は、全世界がかつてない困難に直面した年でした。新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの活動も大きく制限され、私自身、これまで経験した事の無い選択と決断を迫られ続ける日々、苦しいと思うこともありましたが、当時のメンバーの皆さまに支えて頂いたおかげで、なんとか務めを果たすことが出来ました。

2020年の新庄青年会議所の事業は素晴らしい事業ばかりでした。顕在化している新型コロナウイルス感染症のリスクに対応する事業はもちろん、大きな危機の影に隠れて疎かにしてしまいそうだった災害への備えや気候変動対策、郷土愛や地域のアイデンティティを次世代につなぐ事業など、正に地域に今必要な事を勇気と英知と情熱を持って実行してくれました。災害ボランティアと一緒に行ってくれた方、皆で打ち上げた花火。雪の無い雪まつりも大変でしたが良い思い出です。ブロック大会も全国大会も現地での開催は無くなってしまい、お世辞にも笑顔が溢れる年ではありませんでしたが、困難な状況にもかかわらず、前向きな姿勢を失わなかった私たちの笑顔は、たとえ画面越しでもお互いに確実に伝わり、それがまた新たな笑顔を生み出す力となりました。この「つながる笑顔」は、コロナ禍という逆境の中でこそ、その本当の価値を発揮したと感じています。また、日常への感謝に気付く一年だったとも言えます。

創立60周年を迎えた新庄青年会議所の皆様に、心からの敬意と感謝を表します。一日一日を大切に過ごし、若さと行動力で地域の未来を切り拓いて行って下さい。皆様方のご多幸と更なるご活躍を祈念いたします。

スローガン

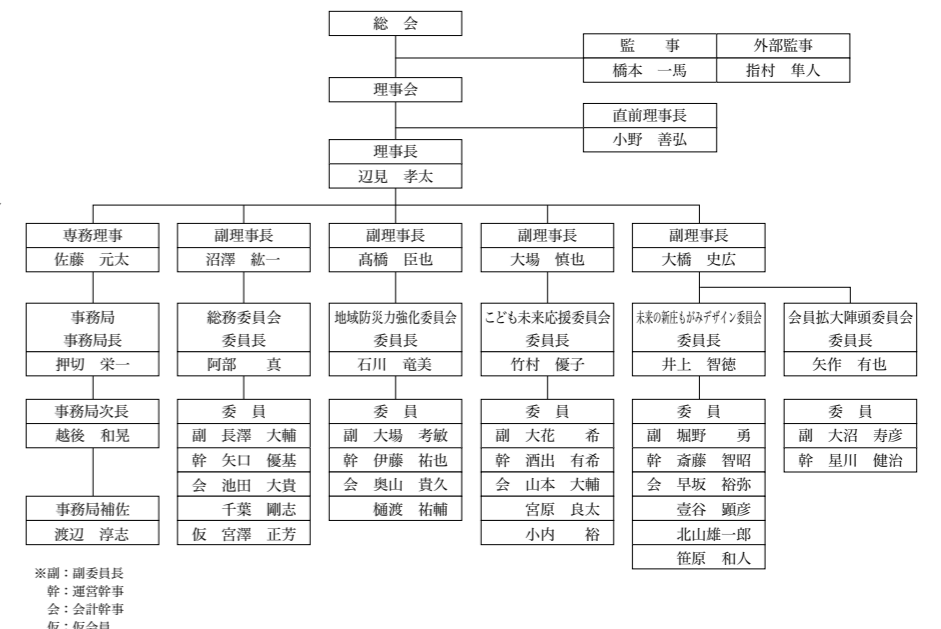
自然豊かな郷土のように 自分らしく、地域らしく それぞれの花を咲かせよう

主な事業

- 第49回新庄雪まつり
- 新たな一歩 ～地域を牽引する自覚と行動力をもつリーダーへ～
- JCI Achirve
～JCを知り、学び行動しよう～
- オトナのための気候変動対策セミナー
～行動しよう！私たちに今できること～
- 山賊王に俺はなる！私もなる！
～仲間と育む強い心～
- 楽しみながら防災力守りンピック
- 3LOMビジネスマッチング会議
- 新庄もがみ食文化シンポジウム
- 愛する家族へJCクリスマス
～日頃の感謝を込めて～



2020年度 組織図



2023

第59代理事長

大場 慎也



「創立60周年お祝いの言葉」

公益社団法人新庄青年会議所の創立60周年に際しまして、関係諸団体、先輩諸兄姉、そして多くの現役メンバーとともにお祝い出来る事に、深く感謝を申し上げます。

1964年、全国では299番目、県内では3番目に設立された新庄青年会議所は、この60年の永きもの間、青年たちの熱き想いで地域を牽引してきました。私が理事長の職をお預かりさせて頂いた2023年には、JUST DO IT～行動こそがもたらす、笑顔溢れる未来へ～のローグンを掲げさせて頂き、2月に第52回新庄雪まつりを始め、4月には広報事業、7月には第56回山形ブロック大会新庄大会、9月にはひとづくり事業を開催させて頂きました。11年ぶりの主管を務めさせて頂くことになった山形ブロック大会新庄大会においては、最上(さいじょう)～新庄から拡げる躍動の「やまがた」～のローグンのもと、県内15LOMの皆様とともに協働し、新庄もがみ地域の魅力と県内各地域の魅力を発信することが出来た大会だったと思います。

JCもある時代と言われた事があります。私は今でもJCしかないと思っています。近年、ここ最上地域でも自然災害が頻発しています。明るい豊かな社会の実現を掲げているJCはどの団体よりも率先して被災地域に赴き、1日でも早い復興に尽力しています。現役メンバーの皆さまには自信と誇りを持って頂きたい。JCとして活動し、JCとして運動を展開し、JCとして地域の為に汗を流し、地域の未来を持続可能なものにしていく。地域を明るく照らし続けるのはJCの情熱と行動力しかないと思います。多くのメンバーと一緒に二度と訪れることの無い今という瞬間を大切にさせて頂きたいと思っています。

最後になりますが、多くのメンバーに出会えたこと、そしてJCとして活動させて頂いたことに感謝申し上げ、60年の想いをこれからの世代に受け継いでいき、公益社団法人新庄青年会議所が益々活躍されること、そして更なる発展をご祈念申し上げます。

スローガン

JUST DO IT

～行動こそがもたらす、
笑顔溢れる未来へ～

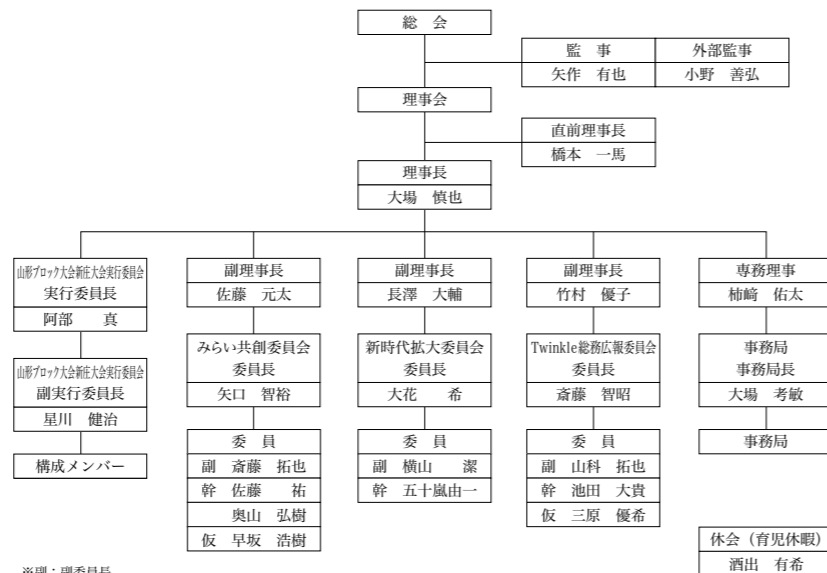
主な事業

- 高校生と共に、明るく豊かな持続可能な新庄もがみを AWARDS JAPAN 2023 事業表彰部門 最優秀LOM 拡大開発プログラム
- 第52回新庄雪まつり
- 情報発信力強化セミナー ～インフルエンサーへの一歩～
- 山形ブロック大会新庄大会
- 新庄市長選挙立候補予定者による公開討論会
- 地域の魅力発見! eガチスポーツ ～リアルとデジタルをあそびつくせ!!～
- I♡FAMILY～スイーツパラダイスへようこそ～
- 東北地区協議会 ゼミナル委員会 最優秀賞 長澤大輔君
- 山形ブロック協議会 アカデミー委員会 最優秀賞 横山潔君



※副：副委員長
幹：運営幹事
会：会計幹事
板：板会員

2023年度 組織図



2024

第60代理事長

佐藤 元太



「歴史に感謝と未来の笑顔のために」

公益社団法人新庄青年会議所創立60周年を行政の皆様、関係諸団体の皆様、ともに運動や活動を展開しております各地会員会議所の皆様、歴史を紡いで頂いた先輩諸氏の皆様、そして、現役メンバーとお祝い出来る事に深く感謝を申し上げます。

2024年度のローグン「BRUSH UP ～仲間とともにより笑顔が生まれる社会へ～」と掲げまして、私たち現役メンバーが成長することで新庄もがみ地域を牽引し、この地域の発展に寄与できると思い本年は運動を展開してまいりました。

2月に行われた第53回新庄雪まつりでは、小雪の中で実行委員会の皆様の知恵を出し合い、巨大雪像を発泡スチロールのオブジェクトに変更し、メインステージをすぼーていあ屋内へ移動させ、雪の魅力を伝えるために雪の滑り台や雪上運動会を行い、多くの皆様からご来場いただきました。

また、6月例会「JRで巡る!明日語れる私だけの魅力発見ツアー」では、新庄東高校の生徒がツアー内容を考え小学生を対象に、奥羽本線、陸羽東線、陸羽西線の町村を訪れ、豊かな自然と歴史を学び郷土愛を深めるとともに地域を語る人材へ成長することができました。

そして、創立60周年記念事業「君こそスターだ!eスポーツフェスティバル!～MOGAMIのヒーロー誕生へ～」では、ゲームを通して子供からお年寄りまで参加できる多様性をご来場の皆様に体験していただき、誰でもヒーローになれる夢と希望を創出し、持続可能な未来を感じていただくことができました。

最後になりますが、先輩諸氏の皆様が築いてきた公益財団法人新庄青年会議所の歴史、関係諸団体様との友好関係を今まで以上に大切に、さらに交流人口を増加させ私たちの運動がより広がり新庄もがみ地域に笑顔が生まれること、そして、皆様の益々のご活躍、ご発展をご祈念申し上げます。

スローガン

BRUSH UP

～仲間とともにより笑顔が
生まれる社会へ～

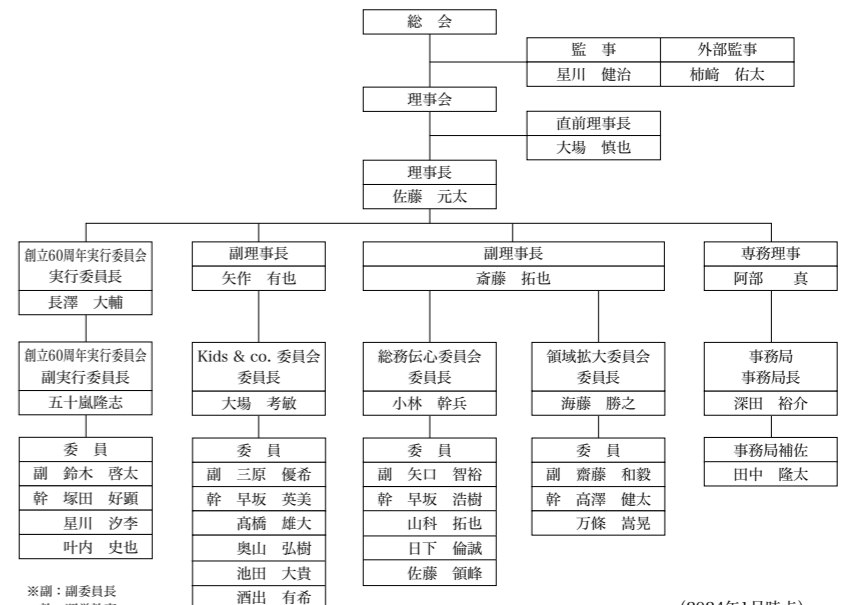
主な事業

- 第53回新庄雪まつり
- JRで巡る! 明日語れる私だけの魅力発見ツアー
- 君こそスターだ!eスポーツフェスティバル!～MOGAMIのヒーロー誕生へ～
- 7月豪雨災害に伴うボランティア対応
- 練るねーる・練ーるね～愛と絆の錬金術～



※副：副委員長
幹：運営幹事
会：会計幹事
板：板会員

2024年度 組織図



(2024年1月時点)

公益社団法人新庄青年会議所

「笑顔をつなぐ」行動指針

はじめに

1965年にこの地に集う青年の決意と覚悟により発足した新庄青年会議所は、本年で設立から60年の節目の年を迎えます。60年の永きに亘り受け継がれてきた、ひとを想う心、まちを想う心、次代を担う青少年の健やかな成長を想う心、そしてその心を形に表し展開してきた運動の歴史は新庄もがみ地域の歴史そのものであり、運動を通してその時代の地域住民や子ども達に生まれた笑顔は、世代を超えて今を生きる現役世代へとつながっています。

笑顔とは地域を愛する心や、心に抱く希望から生まれるものであり、地域と人びとの煌めく可能性であると考えます。この創立60年という節目の年に、先輩諸氏が歴史のなかで情熱をもって創出した「これまでつないで頂いた笑顔」を振り返りながら、「未来の地域の笑顔につなげる」一歩とし、持続可能な新庄もがみ地域のバトンを次の世代につなげます。

私たちは「明るい豊かな社会の実現」という創始の理念を志に掲げ、変わり続ける社会環境の中で、変化を恐れず進化し続けます。そして、より笑顔が生まれる新庄もがみ地域の希望と愛が溢れるビジョンを描き、実現に向けてこれからも歩みを止めずに進み続けます。

1. 「もがみは一つ」の実現に向かって

私たち新庄青年会議所は30年以上前から「もがみは一つ」を謳い活動をしてきました。四方を奥羽山脈や神室連峰などの山々に囲まれ、地域にもたらされる自然からの恩恵、かつて新庄藩がこの地を治めた際に根付いた文化、精神性は新庄もがみ地域全体が共有する財産であるからです。「もがみは一つ」に向かってこの地域に暮らす全ての人々、とりわけ子どもたちが夢と希望に溢れる新庄もがみ地域を思い描き、そして誰も取り残されない持続可能な多様性のある地域を創造すべく、私たち青年が自信を持って力強く生きる姿を見せることが必要です。

この60年で新庄もがみ地域の環境、特に人口構造は大きく変化し、消滅可能性自治体といった地域コミュニティの消滅も危惧されつつあります。そんな時だからこそ、住民や自治体、企業や諸団体が手を取り合って地域の強みや魅力を再デザインし、これまで大切にしてきた人と人とのつながりの中で、真に魅力ある新庄もがみ地域を創造する必要があります。

【人口の推移】	各年10月1日現在（単位：人）				
	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和27年(推計)
新庄市	40,717	38,850	36,894	34,432	23,018
金山町	6,949	6,365	5,829	5,071	3,144
最上町	10,761	9,847	8,902	8,080	4,114
舟形町	6,671	6,164	5,631	5,007	2,799
真室川町	10,054	9,165	8,137	7,203	3,283
大蔵村	4,226	3,762	3,412	3,028	1,535
鮭川村	5,447	4,862	4,317	3,902	1,762
戸沢村	5,915	5,304	4,773	4,199	2,112
最上地域	90,740	84,319	77,895	70,922	41,767
村山地域	577,160	563,473	551,524	531,855	419,765
置賜地域	238,788	226,989	214,975	201,846	133,266
庄内地域	309,493	294,143	279,497	263,404	173,692
山形県	1,216,181	1,168,924	1,123,891	1,068,027	768,490

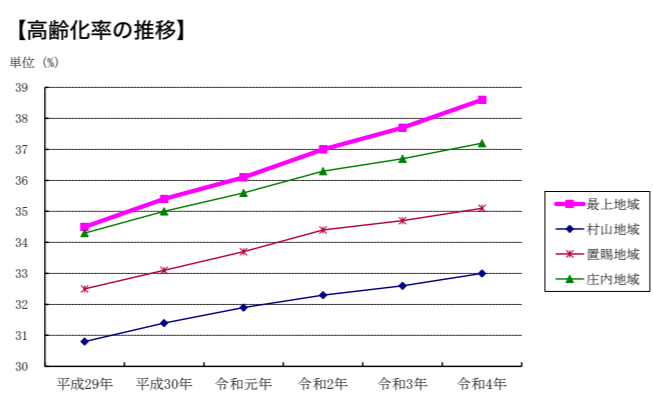
注：令和27年の推計値は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年推計）資料：「令和2年国勢調査」

そのためには何よりも、地域住民が地域を愛し、その魅力を自身から発信し始めることが大切です。私たち新庄青年会議所が率先して地域をつなげ、共感とともに住民の意識改革を行うことで、「笑顔あふれる私たちのふるさと」新庄もがみ地域を次世代に継承することが可能になると考えます。

【最上地域の年齢別人口の推移】	令和4年10月1日現在（単位：％）		
区分	年少人口比率（0～14歳）	生産年齢人口比率（15～64歳）	老年人口比率（65歳～）
市町村名			
新庄市	10.9	54.7	34.4
金山町	10.2	50.6	39.2
最上町	9.6	47.6	42.8
舟形町	9.0	46.7	44.4
真室川町	9.2	47.8	42.9
大蔵村	10.9	47.0	42.1
鮭川村	9.4	46.9	43.7
戸沢村	8.5	48.8	42.7
最上地域	10.2	51.3	38.6
村山地域	11.4	55.6	33.0
置賜地域	10.6	54.3	35.1
庄内地域	10.3	52.5	37.2
山形県	10.9	54.3	34.8
全国	11.6	59.3	29.1

注：単位未満四捨五入のため各数の計と合計は一致しない場合がある。

資料：「令和4年山形県の人口と世帯数」



資料：「令和5年度 最上地域の概況」

2. 新庄もがみ地域が抱える課題と環境の変化

明るい豊かな新庄もがみ地域の創造に向かって未来を描くにあたり、地域の現状に目を向けますと、少子高齢化や人口の流出による人口の減少、それに伴うコミュニティの空洞化や過疎化の進行による地域生活インフラの弱体化、基幹産業のひとつである一次産業の担い手不足による衰退と耕作放棄地の問題など多くの問題を抱え、その根本的な解決策も見出せないまま深刻化の一途をたどっています。また、人々の価値観やライフスタイルの変容とともに人と人のつながりが希薄化し、地域のシンボルである伝統芸能や文化、祭りまでも持続性が懸念されている状況となっています。

追い打ちをかけて、2020年より流行した新型コロナウイルス感染症は、地域経済と人々のコミュニティに大きな傷跡を残しました。しかし2023年以降、地域はその大きな社会問題を乗り越え、人々の動きは再び活発になりました。1984年に事業化された東北中央自動車道は、福島から新庄真室川ICまで開通し、秋田県横手市までの全線開通の見通し

が立ちつつあります。また、山形県立新庄病院の建て替えや東北農林専門職大学の開学、新庄市エコロジーガーデンが賑わいを見せるなど地域社会の状況が変化していると感じています。

また、地域内の関係人口の多い農業分野においてはブランド畜産物や、トマト、アスパラガス、ニラ、きのこなどの高収益型農業への集約と転換が進み、製造業においても時代に合わせた企業の台頭、サービス業における小規模事業者の新規出店など、地域の風景や住民の価値観は変化しつつあります。

3. 新庄もがみ地域の歴史とともに歩んだ運動を検証する

私たちが未来へ笑顔をつなぐためには、過去から連綿と受け継がれ、拓かれてきた歴史を一度振り返り、その時代時代の背景から先人たちがこの地域をどのように想い、運動を興してきたのかを検証する必要性があります。

1965年、高度成長期に発足した新庄青年会議所の黎明期は主に奉仕の精神に基づいた地域活動が多く、また組織・団体としての知名度を確立するべく著名人による文化講演会や指導力開発事業を数多く開催してきました。そういった中、経済は安定成長期を迎えようとした1972年、「もがみの子どもたちに夢を」と第1回新庄雪まつりが開催され、1979年には社団法人格を取得し、少年野球大会をはじめとする青少年の育成事業にも取り組み始めました。

80年代より新庄青年会議所の活動範囲は新庄市から新庄もがみ地域全域と広域に捉え始め、1986年、行革フォーラム「最上は一つ」を開催し「もがみは一つ」という理念が確立されたものになりました。90年代前半にかけてのバブル景気では親と子の触れ合いをテーマにした事業の開催が多く、また新たなまちづくり構想を力強く提言した事業が多かったのも特徴的です。1992年2月にバブルが崩壊してからの90年代は山形新幹線新庄延伸という明るいニュースに夢を乗せ、多くのまちづくりフォーラムや交流会が開催されました。

2000年代は全国的に市町村の合併が進められた中、この地域でも市町村単位の広域合併が議論となり、新庄青年会議所は地域の未来を考え、新庄もがみ地域の広域合併についても推進の立場を取り運動をしてきました。また、2006年に公益法人制度改革関連3法案が成立したのを受け、先人たちが行ってきた事業をより公益的に分類し、2012年11月に公益社団法人格を取得するに至り、現在まで数多くの公益事業に取り組んでいます。

2020年以降は持続可能な開発目標（SDGs）が提唱され、「持続可能性」をキーワードに、世界の課題を地域の課題にとらえ、地域を持続させるために何が必要か向き合い、地域の青少年や住民とともに構築する事業が多く開催されました。また、地域との連携も重要視され、これまで内部完結型であった事業を地域の教育機関や関係諸団体と連携することで、より効果的で共感を呼ぶ事業構築が目指されました。

60年という永きに亘り受け継がれてきた伝統の中、新庄青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現のために運動を展開してきました。そしてそれはこれから先も変わるこのない共通した目的です。

4. 新庄もがみ地域を創る3つの心と政策ビジョン

「もがみは一つ」の理念を掲げ、未来のより笑顔があふれる持続可能な新庄もがみ地域の実現に向かって、新庄青年会

議所がこれまでに取り組んできた運動を検証し、笑顔のバトンを次の世代につなげる路を示すべくビジョンを策定しました。

私たちは私たちの愛する地域のために何ができるのか、何が必要なのかを考え、地域の未来のために住民の共感をよぶ運動を興し、一人ひとりが地域再生の当事者として、また国家の主権者としての意識を醸成していくと共に未来を担う子どもたちの心を育む運動をこの地域の土壌を活かし展開していきます。

(1) 地域を誇る郷土愛にあふれたひとつづくり

新庄もがみ地域の「良さ」とは何でしょうか？私たちはあらゆる住民がこの質問に回答できる地域をつくりたいと考えています。新型コロナ禍において、リモートワークの普及により首都圏から職場機能を地方へ移動する動きが加速しました。その中で選択された都市は、神奈川県、埼玉県といった首都圏近郊の地域が多い一方で、遠く離れた地方が選択されることも珍しくありません。

持続可能な地域の実現のためには、人口の流出を止めるだけでは不十分であり、観光・ビジネス・半定住・体験など様々な目的をもった関係人口を拡大することが必要です。様々な立場で新庄最上地域に関わる交流人口を増やすことで、地域経済の好循環、また定住化などが期待できます。そのためには、新庄もがみ地域を選ばれる地域にしなければなりません。残念ながら現在の新庄もがみ地域は選択されにくい地域であると言わざるを得ません。それは、「地域の良さ」がひとつのストーリーとしてまとまっておらず、この地域で時間を過ごすイメージを発信できないことが原因であると考えます。

この地域を訪問したら、暮らしたら、どんな過ごし方ができるでしょうか？この地域だからできること、「地域の良さ」を考え再デザインすることで、多様な価値観が溢れる現代で選択される、開かれた地域を創造します。またこの運動を通して、人を巻き込むリーダーシップの育成と、地域にプライドを持つ住民の意識変革を起こし、地域住民が地域に誇りを持てる郷土愛を醸成します。

- 人びとの共感とともに実現する協働と連動が織りなすひとつづくり
- 地域を愛し誇る気持ちを醸成するひとつづくり
- 人を巻き込むリーダーシップの育成によるひとつづくり
- 一人ひとりが地域の主役として能動的な発信をはじめひとつづくり
- 変化を恐れず挑戦する人財を育成するひとつづくり
- 多様な価値観を認め受け入れる開放的な地域の実現

(2) 誰もが生き活きと輝く持続可能なまちづくり

「消滅可能性自治体」という言葉があります。これは、2024年4月に民間有識者でつくる日本創成会議が発表した、2040年に向けて20-39歳の女性の数が半分以上減少し、消滅する可能性のある都市を示したものです。私たちの住む新庄もがみ地域は8市町村すべてが該当し、私たちが抱えていた漠然とした不安が目の前に形として突き付けられました。また、近年の気候変動により、新庄もがみ地域は平成30年8月豪雨、令和2年7月豪雨、令和6年7月豪雨と災害がたびたび発生し、一方では冬季に積雪が極めて少ないなど、こ

れまでの概念では説明できない事象が発生しています。

地域の根幹をゆるがすような大きな変化の中で、それでも私たちは愛する新庄もがみ地域に住む人びとが、幸せに安心して暮らし続けられるまちの実現を目指します。そのためには、私たちが持っている地域の宝を再確認し、持っていないものを地域の枠を越えた広域連携・協働運動により補っていくことが必要です。また、安心して暮らし続けられるまちの実現のためには、仕事や生活インフラといった現役世代が活躍できる受け皿の整備はもちろん、障がいや高齢などハンディキャップを持った人びとに対して、自助、公助に期待するだけではなく、住民同士の相互理解と共助の精神が不可欠です。

持続可能な生活の根幹を成すのは、多様性を認めながら助け合うこと。そして非常時においてもモノと人のリソースが効率よく分配され、一刻も早く人びとが日常を取り戻すことにあります。新庄青年会議所では、新庄市、大蔵村、戸沢村と災害協定を締結し、発災時にはボランティアセンターの運営支援を含めた迅速な支援体制を構築しています。

私たちはこれまでもこれからも、愛する新庄もがみ地域の人びとが未来に亘り、地域を誇る心とともに安心して暮らしつつづけられることを目指し運動を展開し続けることをお約束いたします。

1. 相互理解と多様性の包括を実現するまちづくり
2. 自助、公助、共助の確立による助け合いによる誰一人取り残さないまちづくり
3. 強靱な地域防災体制の構築による安心して住み続けられる持続可能なまちづくり
4. 地域の枠を越えた広域連携・協働運動による魅力溢れるまちづくり
5. 産官学一体となった新たなネットワークの構築によるまちづくり
6. 地域の宝、地域の力を活かし経済効果と結び付けたまちづくり

(3) 地域で羽ばたく、地域から羽ばたく、人の可能性を伸ばす青少年育成

教育とは家庭教育、学校教育、地域社会教育の3つの連携が有機的に機能し効果を発揮するものであり、特に近年では総合学習といった地域との関わりやフィールドワークが重視される傾向にあります。というのも、従来の詰め込み型の教育から、変化の激しい社会に対応して探究的な考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の生き方を考えていく「生き抜く力」を重視した教育が重要だと考えられているからです。新庄もがみ地域を魅力ある「生き抜くことができる」地域にしていくためには、現役世代はもちろん青少年が地域の魅力を理解し、その魅力を発信できる人財となることが欠かせません。

また、近年は人工知能の進化により、人々の仕事や教育現場に「AI」という選択肢が生まれるようになりました。この流れは止まらず、人工知能が社会の成長を加速化することが期待される一方で、人間にしかできない応用力や判断力が求められる時代が到来すると考えられます。デジタルツールを手段として活用する一方で、リアルコミュニケーション力の育成や多様な価値観に触れることでの人間力の醸成は、生きるために必須のスキルとなるでしょう。

新庄青年会議所は、青少年の好奇心や探求心と向き合いながら地域と自分の可能性を発見する機会を提供し、彼らが地域と日本の担い手として、地域の中だけでなく、地域から羽ばたく人財となるべく運動を展開してまいります。

1. 地域を愛し誇る心をもった青少年の育み
2. 地域や自身の可能性を見出す機会の提供による青少年の育み
3. 地域の主役である自覚をもち、自ら社会と関わる青少年の育み
4. デジタル社会のなかで人間にしかできない力を持った青少年の育み
5. 地域の枠を越えた広域的な交流による青少年への育み

むすびに

古くから相互扶助の精神が宿り、人と人との関わり、人と自然との関わりを大切にしてきた新庄もがみ地域。そしてこの地域に私たち新庄青年会議所が変わらずにあること、それこそが大いなる希望であり可能性であるという自覚と気概を持ち、運動を展開、また発信していかなければなりません。

「混沌」という世界に可能性を見出せるのは私たち青年だけであり、混沌という未知の可能性を切り拓き、地域の持続性を高めながら、青年としての情熱と決断力を活かした運動を力強く展開し、人びとの意識を、そして時代を変革していくために、私たち青年が感謝と希望、そして愛と夢が溢れる未来を大胆に描き、その実現に向けて常に行動を興さなければなりません。

時代は大きく変化しましたが、新庄青年会議所が60年の歴史で生み出した「笑顔」の先に私たちがいます。私たちの運動は小さくても、地域の魅力を見つけたり、誰かの可能性を見出したり、人の人生や地域の歴史を振り返ったとき少しでも良い方向に変えてくれた存在でいたい。だから私たちはこれからも未来に笑顔をつなぎます。

未来へ

創立60周年を迎えた公益社団法人新庄青年会議所が未来をしっかりと見据えるために、「笑顔をつなぐ」行動指針を右記に定め、長期のビジョンとして今後の指針としていきます。

公益社団法人新庄青年会議所

「笑顔をつなぐ」行動指針

1. 未来に亘り住民が笑顔で暮らし続けられる、持続可能な新庄もがみ地域を創造するまちづくりを実践します。

2. 人びとの地域を愛し誇る気持ちを醸成し、地域の可能性を共感とともに内外へ発信するひとづくりを実践します。

3. 私たちの行動が地域や人びとの未来を良い方向に変える、自覚をもった組織づくりと運動を実践します。

新庄青年会議所創立60周年記念事業

「君こそスターだ！eスポーツフェスティバル！ ～MOGAMIのヒーロー誕生へ～」

事業趣旨

本事業は新庄青年会議所創立60周年の記念事業として、また新庄もがみ地域におけるデジタル化の促進事業として、これまで地域に創出されてきた笑顔をこれからの笑顔につなげ、地域におけるヒーローを生み出すために、世代を超えて愛されるデジタルコンテンツ「eスポーツ」を活用し、未来の笑顔の創出に取り組みました。

ゲームをスポーツ競技として競い合う新しいスポーツである「eスポーツ」では、世界的なビッグイベントなども開催されており、体力に自信がない、運動が苦手な方でも、誰もが活躍できる可能性を秘めています。

また、サブカルチャーとの融合としてアイドルステージイベントやコスプレイベントなども同時開催することで、山形県内のサブカルチャーのマイルストーンとなる地域を目指し、次の時代への足掛けとして開催しました。

○特別協力団体

- 一般社団法人山形県eスポーツ協会
- 新庄 TCM 株式会社 (Fiesta)
- 学校法人新庄学園新庄東高等学校

○協力団体

- NTT 東日本 山形支店、We スポーツクラブ新庄、株式会社アイ・オー・データ機器、陸上自衛隊

○後援団体

- 最上教育事務所、新庄市教育委員会、金山町教育委員会、最上町教育委員会、舟形町教育委員会、真室川町教育委員会、鮭川村教育委員会、大蔵村教育委員会、戸沢村教育委員会

事業内容

- ・CAPCOM 公認ストリートファイター6 大会
- ・陸上自衛隊による格闘術演武
- ・ユメリオンによるステージショー
- ・パステルパニーズによるショーケース
- ・eスポーツ体験会 (eスポーツ国体競技、VR 体験)
- ・ゆめりあマルシェ (同時開催)



事業の結び

当事業は、新庄青年会議所が60年の運動で生み出した笑顔を次の世代につなげる「笑顔の継承」をテーマに、「まだ浸透していないeスポーツで様々な人に活躍して欲しい！ヒーローになってほしい！」という思いと、新庄もがみ地域の子どもや大人たちに「この地域でもこんなに夢や希望があふれる事業ができるんだ！」という未来への希望を持っていただくために、「誰もがヒーローになれる可能性を持つeスポーツ」をメインコンテンツとして開催しました。

当日の選手と会場の熱量は最高潮であり、懸念していた裾野の狭さは、関係各所との綿密な連携によってフォローされ、eスポーツの魅力をたくさんの方に笑顔とともに感じて頂けました。そして、多くの方々の協力を集めながら構築した結果、県内の先駆けとして、県内最大規模のeスポーツの祭典として実施することが出来ました。

一般の部の優勝者は20代で、大会出場経験はなく、手が震えるような緊張感で大会に挑んでくれました。その方に限らず、この大会を通してたくさんの「ヒーロー」が誕生しました。

私たちが本気で取り組む運動は、関わった方々の人生をちょっとだけ良い方向に変える、そんな力を持っています。この事業を、実行委員をはじめ今年度のメンバーの皆様と構築できたことを心から嬉しく感じています。

当日は、多くの来場者に恵まれ、ストリートファイター6大会は歓声と拍手に包まれて多くのドラマが生まれ、マルシェにも笑顔があふれ、そして体験会でも、新庄東高校eスポーツ部とeスポーツ協会様とメンバーの皆様力を借りながら、子どもたちに笑顔と希望を持っていただくことが出来たと感じております。

人が1人で出来ることには限界があります。しかし、「人と人が集まって切磋琢磨し、それぞれが出来る力を合わせて、創り上げられることの大きさと、その強さ」を何よりも感じた事業となりました。

参加していただいた皆様、全面バックアップいただいたeスポーツ協会の皆様、快く会場を使わせていただいたゆめりあの皆様、練習会から多大なご協力をいただいた新庄東高校の生徒と先生の皆様、関係者の皆様、出店者の皆様、そして新庄青年会議所のメンバーの皆様、心より感謝を申し上げます。

この地域はまだまだ可能性であふれています。これからも仲間とともに、地域の未来を切り拓く魁として邁進して参ります。

現会員紹介 (五十音順、9月時点)

 阿部 真 S63. 4.20生 鈴屋クリーニング 代表取締役	 五十嵐 隆志 H2. 6.26生 新庄市役所 主事	 池田 大貴 S63. 4.28生 (有)ミナミ 専務取締役	 大場 慎也 S59. 6.16生 (有)最新清掃興業 代表取締役社長
 大場 考敏 S63.11.23生 おおば接骨院 院長	 奥山 弘樹 S59. 4. 8生 奥山電気 代表取締役	 海藤 勝之 S59.10.15生 海藤大工 代表	 叶内 史也 H9.10. 2生 学校法人新庄学園新庄東高等学校
 日下 倫誠 H7.10.26生 戸澤神社 権禰宣	 小林 幹兵 H8. 9.14生 ハッピーライフ(有) 代表取締役	 齋藤 和毅 H4. 5.20生 ラッキーバッグ(有)	 齋藤 拓也 S63. 5.17生 (有)イーユー マネージャー
 酒出 有希 H2. 3.10生 酒出塗装	 佐藤 元太 S61. 2. 8生 (有)真和技建 専務取締役	 佐藤 領峰 H12.12. 8生 Bar FIVE	 鈴木 啓太 S61. 6. 9生 新庄市議会議員
 高澤 健太 S61. 7.27生 BuZZ 代表	 高橋 雄大 S59. 8.19生 雄大工業 代表	 田中 隆太 H3. 7.18生 (有)東日本電化 常務	 塚田 好顕 H5. 5.28生 メットライフ生命保険(有) シニアチーフ

 長澤 大輔 S63.10.15生 (有)舟形マッシュルーム 代表取締役社長	 早坂 英美 S61. 5.31生 etoile (エトワール)	 早坂 浩樹 S62. 7.25生 出張二枚橋整体院	 深田 裕介 H3. 7. 2生 深田菓子舗 専務取締役
 星川 健治 S61. 7.23生 Cafe&Bar mahalo	 星川 汐李 S63. 1.14生 焼肉ダイニング 八福神	 万條 嵩晃 H6. 5. 1生 ラッキーバッグ(有)	 三原 優希 S62. 9.24生 (有)三原製酪 専務
 矢口 智裕 S63. 3.10生 Plumeria	 矢作 有也 S60. 9. 1生 (有)ワールド企画 代表取締役	 山科 拓也 H2.10.26生 YAMA制作 代表	 遠藤 拓人 H5. 9.10生 日本生命保険相互会社
 古澤 ゆり H2.11.30生 SABON	 米屋 忍 S62. 3. 7生 (有)松葉美装 専務取締役	 武田 大和 (仮会員) S63.10.29生 白狐屋 店主	

お礼の挨拶



公益社団法人 新庄青年会議所
第60代 理事長

佐藤 元太

公益社団法人新庄青年会議所創立60周年式典の開催にあたり、多くの皆様のご臨席を賜り心より御礼申し上げます。先輩諸氏の皆様が築き上げてきた歴史は、脈々と受け継がれ多くの関係諸団体の皆様と協働し事業を展開してきました。この協力関係をさらに強いものとするため、皆々様が共感を抱く時代に合った事業展開して参りたいと思います。修練・奉仕・友情の3信条を大切にしながら新たな一歩を踏み出し私たち青年の力を新庄もがみ地域の発展にこれからも寄与し続けていきます。

結びとなりますが、今後とも私どもへの変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。公益社団法人新庄青年会議所を代表いたしまして御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

公益社団法人 新庄青年会議所 創立60周年スローガン

つながる笑顔

本年度60年の節目を迎える新庄青年会議所は、これまで先輩諸氏が、ひとのため、まちのため、青少年のため運動を興し、時代に合った事業や組織運営を行ってきたことで、地域にたくさんの笑顔を生み出して参りました。運動を通してその時代の地域住民や子ども達に生まれた笑顔が、世代を超えて今を生きる現役世代へつながっています。

創立60周年において、先輩諸氏が歴史のなかで仲間とともに生み出した「これまでつないで頂いた笑顔」を振り返りながら、「未来の地域の笑顔につなげる」起点となる運動を展開します。

創立60周年実行委員会として、これまで協力して頂いた関係諸団体、歴史を紡いで頂いた先輩諸氏へ感謝の心と、私たちが目指す未来のビジョンを伝えるために、創立から今までの歴史をたどり、当時抱いた熱い思いを呼び起こし、新庄もがみ地域の笑顔あふれる未来へ向けた、希望ある事業を行います。

公益社団法人 新庄青年会議所 創立60周年ロゴマーク



このロゴマークは、創立60周年の「60」を元に、口元の両端を矢印で表記し、これまでの笑顔をこれからの笑顔に「つなげる」意味を表現しました。また、虹色を模したグラデーションにより、虹色が持つ「夢」や「希望」、多色表現による「多様性」を表現しました。さらに、上部は「太陽」のような希望の光を表す赤色、下部の緑色は最上地域の自然を表し、それらをグラデーションにすることで、最上地域の新時代の幕開けを表現しました。



公益社団法人新庄青年会議所
マスコットキャラクター『ジェシー』

公益社団法人新庄青年会議所 創立60周年記念誌

発行／2024年10月20日

製作／公益社団法人新庄青年会議所
創立60周年実行委員会

(事務局)

〒996-0022 山形県新庄市住吉町3-8 (新庄商工会議所内)

TEL.0233-22-6855 FAX.0233-22-6857

URL <http://www.shinjo-jc.com/>

E-mail shinjojc@ic-net.or.jp